

南スーダン独立後初の総選挙に向け、下妻市での投開票から学ぶ！

南スーダンからの研修員が12月10日(日)の下妻市議会議員選挙を見学

東アフリカに位置する南スーダンは、2011年のスーダンからの分離独立以降、度重なる国内の紛争により、不安定な国政が続いていました。そんな中、2018年に和平合意が締結され、2024年末に独立後初の総選挙が実施される予定です。国を挙げての初の選挙へ向けて、下妻市での選挙の様子を見学します。

国際協力機構(JICA)は、南スーダン共和国に対する政府開発援助(ODA)として、民主主義の根幹となる選挙を自由で公平なものにするため、「選挙管理支援」についての本邦研修を11月30日(木)から12月15日(金)まで実施します。参加する研修員(14名)は、南スーダン中央選挙管理委員会及び州選挙管理委員会の委員長や実務担当者をはじめとする、選挙を実施するうえでのキーパーソンとなる職員です。彼らは、初の総選挙への準備として、日本の選挙の歴史や自由で公平な選挙を実行するための実務について学びます。

研修の一環として、12月10日(日)投開票の下妻市議会議員選挙の機会に、投票所の仕様や有権者の投票の現場を見学し、選挙が安全かつ公平に行われていることを学びます。また、開票の対応についても見学し、市民の声を直接県政に反映するための選挙の仕組みについて学びます。今回の見学は、実際の選挙を自分の目で確かめることでその学びを深め、自国の選挙に活かすことができるよう、下妻市や下妻市選挙委員会及び事務局など、関係の皆様のご協力を得て実施します。

初の総選挙に向け、下妻市での選挙をお手本に学ぶ機会について、取材をぜひご検討ください。

【取材概要】

(1) 日時: **2023年12月10日(日)**

時間	場所	概要
18:30~19:15	下妻市総合体育館	研修員へのインタビュー 開票所見学(開票作業を参観席から)

(2) 留意事項:

- ・対応可と確認できた研修員(当日 JICA よりお伝えします)への撮影・取材が可能です。
通訳(日・英)は JICA が対応します。
- ・開票所見学において、対応可研修員以外の参観者を撮影することはお控えください。
- ・当日の下妻市、下妻市選挙委員会関係者の方への取材・撮影は、調整いたしますので、事前にご希望をお知らせください。



(イメージ:開票所にて、笑顔で見学する南スーダンの研修員)

【本件に関する取材申込み・問い合わせ先】

ご取材いただける場合、12月8日(金)正午までに、以下にご連絡ください。

JICA 東京 産業開発・公共政策課 船越陽香

TEL 03-3485-7635 e-mail: Funakoshi.Yoka@jica.go.jp